大学名　　　　　　　学部　　　　　　　　学科　　　　　　　　　　専攻

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |

 Ⅰ．学校について

1. 学校の地理的環境・アクセス・周辺の雰囲気

|  |  |
| --- | --- |
|  | 書く際にポイントにしてほしい点です。記入の際はこのコメントを削除してください。以下同様。・アクセスの便利さ、大学のイメージとロケーションとのギャップは？・静岡市街と比較した周辺の情況。静岡からの所用時間は？ |

1. 特徴だった学校の施設・カリキュラム

|  |  |
| --- | --- |
|  | ハード面だけでなく、ソフト面（留学制度など）についても触れてください。 |

1. 全般的な講義内容

|  |  |
| --- | --- |
|  | ・教養課程、専門課程、教授陣の特徴、等。・一年次から専門的な講義や専門機器を使った実験実習があるか、など。・大学HPには発見できない特徴などあったら是非お願いします。 |

1. 学校の雰囲気や学生同士の関係

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |

1. サークル活動

|  |  |
| --- | --- |
|  | ・高校とは違う特色。・サークル決定のきっかけ。 |

1. 全般的な満足度

|  |
| --- |
| この大学に入学して良かったと思う点。 |

 　氏　　　名 　 　　高校卒業年　　令和６年３月

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  | 　 |

 Ⅱ．学部・学科の学習内容（時間割の掲載）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| １ |  |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |  |
| ３ |  |  |  |  |  |
| ４ |  |  |  |  |  |
| ５ |  |  |  |  |  |
| ６ |  |  |  |  |  |

　・授業の特色、他大学にはないと思われる良い特徴。　・卒業論文・研究を必修にしているかどうか。　・他学部の授業も受講可能か。　・資格取得に対応した講義や補修授業などが開かれているか。 |

 Ⅲ．一日の時間の使い方について

|  |  |
| --- | --- |
|  | 学習時間、サークル、アルバイト、等どの様に配分しているか。 |

 Ⅳ．アルバイト、仕送り状況、等

|  |  |
| --- | --- |
|  | 　・アルバイトの職種と収入。・仕送りとアルバイトの比率。・寮や下宿の費用。・大学の奨学金制度等の経済的な面での支援制度の紹介。・一ヶ月の家計状況。・学業とアルバイトの両立は出来るのか、等 |

 Ⅴ．大学・学部・学科を決定した経緯

|  |  |
| --- | --- |
|  | 高校時代にイメージしていた学科の内容と現実との違いと、それへの対応 |

　　Ⅵ.　後輩へのアドバイス（学年別学習方法と進路目標の設定方法について）

|  |
| --- |
| 学部選択や志望校選択にあたってのアドバイス、受験勉強の仕方　等 |

下記の①～③にご回答ください。なお、これより先は冊子には掲載しません。

①名前は掲載しますか？　　　（　掲載希望　・　匿名を希望　）

②完成した冊子の送付を希望しますか？　（　送付を希望する　・　送付を希望しない　）

③氏名・郵便番号・住所をご記入ください。（冊子の送付希望の有無に関わらず、入力をお願いします。図書カードを送付いたします。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 郵便番号 | 住所 |
|  |  |  |

御協力ありがとうございました。電子メールにてファイルを添付して提出してください。

（清水東高校進路部原稿受付用メールアドレス **wbs22759@mail.wbs.ne.jp**）

メールの件名及びファイル名は、「最新大学情報（大学名　学年　記入者氏名）」としてください。

　　　（例）「最新大学情報（静岡大学　1年　清水花子）」

**記入見本**

　　　大学名　　　　　　　学部　　　　　　　　学科　　　　　　　　　　専攻

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |

全て正式名称でご記入ください。

漢字についても略字ではなく、正式なものでご記入ください。

 Ⅰ．学校について

 ①学校の地理的環境・アクセス・周辺の雰囲気

|  |  |
| --- | --- |
|  | 　静岡から京都まで新幹線で1時間半、そこから京大まではバスで40分くらい。京都だけあって、すぐ近くには京都御所や銀閣寺などの観光名所があり、よく外国人の姿を見かけます。食事やショッピング、娯楽施設は豊富に揃っていて、京都から出なくても不自由なく暮らせます。都会レベルは静岡よりも高いです。また、1000円ちょっとあれば片道1時間で大阪まで往復することが可能です。 |

 ②特徴だった学校の施設・設備

|  |  |
| --- | --- |
|  | 　構内はとにかく大きくて、とてもじゃないけれどすべては把握できません。図書館は50以上あるそうで、平日は24時間自習できる施設や、グループディスカッション専用の施設も附属しています。学習環境だけでなくスポーツ設備も充実していて、相撲や馬術に至るまで幅広い競技を楽しむことができます。また、食堂では手頃な価格でバランスのよい食事がとれるので、食生活が不摂生な学生にとっては助かります。国際的な面でいうと、現職の松本総長は大学のグローバル化に力を加えていて、国際交流館という施設では英語による講義が行われています。 |

 ③全般的な講義内容

|  |  |
| --- | --- |
|  | 　総合人間学部は授業のほとんどが教養科目みたいなものなので、専門科目について詳しく言及することはできません。そのため私が記述する講義内容は、教養学部系の進学希望者に特化したものになります。教養科目の講義は基本的に深くまで踏み込みませんし、また、何もしていないとすぐに忘れてしまいます。もし単位以外に授業から何かを得たいなら、講義内容を定期的に振り返って知識を定着させることが必要です。また教養科目には講義のほかにゼミもあり、ディスカッションが行われます。選ぶゼミにもよりますが、非常に活発で質の高い議論が行われます。 |

 ④学校の雰囲気や学生同士の関係

|  |  |
| --- | --- |
|  | 　学校の雰囲気は、一言でいうと「にぎやか」という感じです。学生には最大限の自由が与えられているため、一人一人が自分のやりたいことを思う存分しています。大学生活の充実度は平均的に見てもかなり高いと思います。　友人関係は主にクラスやサークル内部で形成されることが多いです。それ以外にもグループ活動のある授業やゼミでも交友関係は広がります。交友関係が広がると様々なイベントに招待されたり、豊富な情報を入手することができるのでとても助かります。京大では一般人から奇人・変人に至るまで様々な性格の人々が全国各地より集まるので、探せば気の合う友人に必ず巡り会えます。 |

 ⑤サークル活動

|  |  |
| --- | --- |
|  | 　部活・サークルの数はとてつもなくたくさんあります。入学時に配られた「サークル大百科」には350くらいのサークルが掲載されていました。載っていないものも含めると、その数は計り知れません。サークルは部活と違って行くも来ないも個人の自由なので、活動の仕方は人それぞれです。一つのサークルに打ち込む人もいますし、複数のサークルを掛け持ちする人もいます。私は現在4つのサークルを掛け持ちしていて、後期からは新しくサッカーのサークルを始めるつもりです。 |

 ⑥全般的な満足度

|  |
| --- |
| 　95点　サークル活動はもちろん、勉強もこれまで知ることのなかった領域に触れることができて、充実度はとても高いです。大学生活で不自由なことは何もありません。ただ、学部の性質上広い分野を学べることはいいのですが、最終的に専攻を絞り切れるのかどうかが少し不安です。それを除けば100%満足と言ってもいいでしょう。 |

 　氏　　　名 　 高校卒業年　　 令和３年３月

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 名前は、入力されたとおりに印刷します。「高橋」「髙橋」、「齋藤」と「斉藤」など。 |  |

 Ⅱ．学部・学科の学習内容（時間割の掲載）※後期時間割

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| １ | 心理学ⅡB | 認知行動科学入門 |  | 英語講義：青年期の自己形成論 | 法学入門 |
| ２ | 国際政治論Ⅱ | コンピューターリテラシー | 発達論Ｂ | 先進エネルギー概論 | 英語ⅠＢ |
| ３ | 情報ネットワーク |  | 英語ⅠＢ | 情報と社会Ⅱ |  |
| ４ | 社会経済システム論 | フランス語ⅠＡ再履修 | フランス語ⅠＢ | フランス語ⅠＢ | プログラミングRuby |
| ５ | 宇宙科学入門 | 生命情報学 | 倫理学Ⅱ | フランス語ⅠＡ再履修 | プログラミングRuby |

　京大では1コマ90分で、１限の開始時間は8:45、5限の終了時刻は18:00です。休み時間は各コマの間の15分休憩と、2限後の60分休憩があります。　私の時間割は右の表を見てもらえれば分かる通り、超ハードスケジュールです。しかも法学や科学やらプログラミングやら、全くかけ離れた科目を大量にとりました。入学当初は社会学中心に学ぼうと思っていたのですが、夏休み中に好奇心がビッグバンしてしまい、このような時間割になりました。こんな統一感の欠片もない時間割を作ることができるのは、総合人間学部以外にないと思います。　ただ、先に述べたとおり一般教養科目は広く浅くしか学べないので、それを深く掘り下げるには自学自習が不可欠となります。今の私は好奇心の塊のようなものなので自習はそれほど辛くありませんが、勉強嫌いな人が教養系の学部に入った場合、最悪だと何も身につかずに卒業してしまうことがあると聞きます。 |

 Ⅲ．一日の時間の使い方について

|  |  |
| --- | --- |
|  | 　授業以外の時間の使い方は、人それぞれだいぶ違います。部活に全力を捧げる人や、ずっと遊んでばかりいる人も多くいます。大学側が個人の生活に干渉することはほとんどなく、卒業条件もゆるいと周囲からよく聞くことから、このような生活習慣の違いが顕著に現れるのだと考えられます。私の場合は、授業以外の時間はだいたいサークルか勉強です。私は文系なのですが夏休み中に物理や化学の世界にハマってしまい、現在は空き時間に自習しています。以前は素数が大好きだと主張する人々の心情が理解できなかったのですが、最近アボガドロ数に感動を抑えられない自分にふと気づき、私も彼らの域に近づきつつあるのかと感慨深いものを感じます。 |

 Ⅳ．アルバイト、仕送り状況、等

|  |  |
| --- | --- |
|  | 　京都には飲食店やスーパーなどがいくつもあるため、アルバイト探しには苦労しません。なかでも家庭教師や塾講師の需要はとても高く、教育関連のアルバイトをしている人が比較的多く見受けられます。私はというと、週に１回蕎麦屋で深夜に７時間働いています。アルバイトが学業や趣味の妨げにならないよう、時間は最小限にとどめたつもりです。稼いだお金は、来年の春ガーナに行くための資金にしようと考えています。夏休みや春休みは丸２か月あるので、それを利用して海外へ行く人はたくさんいます。稼いだお金は貯めたりせず、自己投資にジャンジャンつぎ込むのがベストだと思います。　 |

 Ⅴ．大学・学部・学科を決定した経緯（迷った理由と決定した理由）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 　私が進路を京大の総合人間学部に決定したのは、ただ単に自由が欲しかったからです。制限を受けず、自分がやりたいことを徹底的にやることに憧れがあり、京大の総人ではそれができると思いました。高校時代、私は猪突猛進型の人間だったので、京大に入ると決めたらそれ以外は眼中になく、進路で迷うことはほとんどありませんでした。悩みを抱えないようにするメンタルコントロールは、受験だけでなくその後の生活でも役に立ちます。　 |

　　Ⅵ.　後輩へのアドバイス（学年別学習方法と進路目標の設定方法について）

|  |
| --- |
| 　受験は体感時間がとても長く、時には挫折しそうになることもあるでしょう。そんなときは、自分の楽しい大学生活を妄想してみるのがいいと思います。将来の楽しいことを考えれば、自然と気分が明るくなり、また頑張ろうという気が起きます。私も受験期はよくニヤニヤしてました。最後にもう一つ。実際に入学してみてわかったのですが、私の想像より、大学は何倍も自由なところでした。いくら大学調べを緻密にしても、自分の想像といざ入った時の現実の差は避けられないものだと思います。私の場合そのギャップは良い方向に働きましたが、中には失望してしまう人もいるでしょう。進路を決める際はギャップが存在することを前提として考え、その差に直面しても臨機応変に対応する心構えが必要です。　　皆さんの健闘を祈ってます。 |